

授業科目 生理学

【担当教員名】 石上 和男		対象学年	1	対象学科	情報
		開講時期	前期	必修選択	選択
		単位数	2	時間数	30
【ディプロマポリシーとの関連性】					
知識・理解		思考・判断		態度	
◎		○		○	
【概要】 人体を理解するために、生理学は極めて重要である。本科目では、細胞に関する理解を確実にし、神経系、内分泌系、筋骨格系などの基礎的な事柄を様々な疾患との関連で体系的に学ぶ。					
【学習目標・行動目標：SBO】					
1. 細胞の生理学について説明できる。 2. 腎臓に関する生理学を説明できる。 3. 内分泌系に関する生理学を説明できる。 4. 神経系の生理学を説明できる。 5. 感覚の生理学を説明できる。 6. 筋収縮の生理学を説明できる。 7. 心臓・循環系の生理学を説明できる。 8. 呼吸の生理学を説明できる。 9. 消化・吸収・代謝の生理学を説明できる。					
回数	授業計画・学習の主題			SBO 番号	学習方法・学習課題 備考・担当教員
1	細胞機能（1）			1～3	講義
2	細胞機能（2）			1～3	講義
3	腎臓・排泄系			1～3	講義
4	内分泌系			1～3	講義
5	神経系（1）			1～3	講義
6	神経系（2）			1～3	講義
7	感覚系（1）			1～3	講義
8	感覚系（2）			1～3	講義
9	筋収縮（1）			1～3	講義
10	筋収縮（2）			1～3	講義
11	心臓・循環器系（1）			1～3	講義
12	心臓・循環器系（2）			1～3	講義
13	呼吸器系			1～3	講義
14	消化器系・呼吸・代謝（1）			1～3	講義
15	消化器系・呼吸・代謝（2）			1～3	講義
【使用図書】		<書名>		<著者名>	<発行所> <発行年・価格 他>
教科書 (必ず購入する書籍)					
参考書		大学課程の生理学 めに 改訂第9版	ヒトのからだを識るた 泰三	山本敏行、田崎京二、鈴木 南江堂	2010・2,200円
その他の資料					
【評価方法】 出席・期末試験			【履修上の留意点】		